

連続群論輪読

電気通信大学 情報・ネットワーク工学専攻
情報数理工学プログラム 高橋研究室
修士1年 水野博文

準同型写像

Definition (準同型写像)

群 G, G^* に対して,

$\forall x, y \in G, g(xy) = g(x)g(y)$ となる

写像 $g : G \rightarrow G^*$ を準同型写像という.

Definition (正規部分群)

群 G に対して,

$\forall n \in N, \forall x \in G, x^{-1}nx \in N$ となる

部分群 N を G の正規部分群という.

準同型写像

Theorem (定理 1)

準同型写像 $g : G \rightarrow H^* \subset G^*$ に対して g の核を N とする
 N は正規部分群であり, G と G/N は同型である

C) 自然な準同型写像

Theorem

群 G , その正規部分群 N , 写像 $g: G \rightarrow G/N$ に対して, ここで $g(x) = X = Nx$ と定義すると写像 g は準同型となり, これを群からその剰余群の上への自然な準同型写像 という。

$\forall x, y \in G, g(xy) = g(x)g(y)$ を示せばよい。

Proof.

$x, y \in G$ に対して g の定義より $g(x) = Nx, g(y) = Ny$

$$g(x)g(y) = NxNy = NNxy = Nxy$$

$$g(xy) = Nxy$$

よって $g(xy) = g(x)g(y)$ □

D)

Theorem

準同型写像 $g : G \rightarrow G^*$ の核が単位元のみ
即ち, $N = \{e\}$ ならば g は同型写像である.

(同型写像: 全単射な準同型写像)

Proof.

$N=e$ より $G/N = \{Nx \mid x \in G\} = G$

定理 1 より g は同型写像である. □

E)

Theorem

準同型写像 $g : G \rightarrow H^* \subset G^*$ に対して,
集合 H^* は G^* の部分群である.

$\forall x^*, y^* \in H^*, x^* y^{*-1} \in H^*$ を示す

Proof.

$x^*, y^* \in H^*$ に対して

$x^* = g(x), y^* = g(y)$ となる $x, y \in G$ が存在

$x^* y^{*-1} = g(x)g(y^{-1}) = g(xy^{-1}) \in H^*$

よって $\forall x^*, y^* \in H^*, x^* y^{*-1} \in H^*$ より

H^* は部分群である. □

F)

Theorem

準同型写像 $g : G \rightarrow G^*$ に対して，
 H が G の部分群ならば $g(H)$ は G^* の部分群であり，
 H が G の正規部分群ならば $g(H)$ は G^* の正規部分群である．

部分群について

$\forall x^*, y^* \in g(H), x^* y^* = -1 \in g(H)$ を示す.

Proof.

$x^*, y^* \in g(H)$ に対して $x^* = g(x), y^* = g(y)$ となる $x, y \in H$ が存在

$$x^* y^{*-1} = g(x)g(y^{-1}) = g(xy^{-1}) \in g(H) \quad \square$$

正規部分群について

$\forall h^* \in g(H), \forall a^* \in G^*, a^{*-1} h a^* \in g(H)$ を示す.

Proof.

$h^* \in g(H)$ に対して $h^* = g(h)$,

$a^* \in G^*$ に対して $a^* = g(a)$ となる $h \in H, a \in G$ が存在

$$a^{*-1} h a^* = g(a^{-1})g(h)g(a) = g(a^{-1} h a) \in g(H) \quad \square$$

G)

Theorem

準同型写像 $g : G \rightarrow G^*$ に対して,
 H^* が G^* の部分群ならば $g^{-1}(H^*)$ は G の部分群であり,
 H^* が G^* の正規部分群ならば $g^{-1}(H^*)$ は G の正規部分群である.

Proof.

(H) と同様にして成り立つ. □

H)

Theorem

準同型写像 $g : G \rightarrow G^*$, $g^* : G^* \rightarrow G^{**}$ に対して
写像 $h = g^*g$ は G から G^{**} への準同型写像となる.

$\forall x, y \in G, h(xy) = h(x)h(y)$ を示せばよい

Proof.

$x, y \in G$ に対して

$$h(xy) = g^*(g(xy)) = g^*(g(x)g(y)) = g^*(g(x))g^*(g(y)) = h(x)h(y) \quad \square$$

1) 変換群

Definition

群 G が集合 Γ の変換群であるとは

$x \in G$ に Γ の変換 x^* が対応して

準同型写像 $\tau: G \rightarrow G^*$ に関して

$x^* = \tau(x)$ としたとき, $\tau(xy) = \tau(x)\tau(y)$ となること

(Γ 上の変換とはそれ自身への 1 対 1 対応の写像のこと)

τ の核を変換群 G の無効核という.

τ が同型写像のとき群 G をエフェクティブな変換群という

$x \in G$ を $x = x^*$ とすると群 G, G^* は一致する

Definition (推移的)

$$\forall \zeta, \eta \in \Gamma, \exists x \in G, x^*(\zeta) = \eta$$

Definition (相似写像)

G を Γ の変換群, G' を Γ' の変換群とする

写像 φ が $G \rightarrow G'$ の同型写像、

ψ が $\Gamma \rightarrow \Gamma'$ の全単射の写像であり

$x' = \varphi(x), \zeta' = \psi(\zeta) \Rightarrow x'^*(\zeta') = \psi(x^*(\zeta))$ のとき

φ, ψ を G, Γ から G', Γ' の上への相似写像という

また G, Γ から G', Γ' への相似写像が存在するとき

G, Γ から G', Γ' は相似であると定義する